

第73回企画展

『稲わら』ってすごい

～暮らしを豊かにしてくれた稲わら製品～



平成29年7月6日(木)～平成29年9月30日(土)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

『稲わら』は、ごく自然に私たちの身近にあり、誰もがさまざまに加工を加えることができる素材として、つい50年ほど前までは衣食住、冠婚葬祭^{かんこんそうさい}、労働、運搬、遊びなど、生活のあらゆる場面で使用され日本人の生活を豊かにしてくれました。

昔は、「稲わらを燃やしたら罰^{ばち}があたる」とも言われ、無駄にすることなく大切に扱ってきたものです。しかし、昭和の中頃からは生活の多様化やナイロン、ビニールなどの化学製品の登場により、次第に稲わら製品は使われなくなってきました。

今、稲わら製品は、伝統行事や民芸品でしか見ることができなくなっています。

日本の生活文化を支え、また、生活を豊かにしてくれた稲わらが、その役割を終えてしまったことは大変残念なことです。

このような時代だからこそ、日本人の生活を豊かにしてくれた『稲わら』についてもう一度考えてみましょう。



むしろ織機



雨具(ワラゲラ・スゲ傘)



わら人形(忍び馬・牛・つなぎ馬)



わら沓

岩手県立農業ふれあい公園
農 業 科 学 博 物 館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台